

～あなたの街の火災傾向を知って、火災予防に取り組みましょう～

火災の傾向（平成21～25年）

放火が多くなっています

火災原因は、放火が多く、約18%となっています。

【火災原因：放火火災割合】

・札幌市全体	21.6%
・市内87地区平均	20.5%
・市内87地区内順位	50位

住宅での火災が多くなっています

戸建住宅（専用住宅）が約36%、マンション・アパート等（共同住宅）が約20%であり、合わせて約半数が住宅からの火災です。

【り災物の状況：住宅割合】

・札幌市全体	38.8%
・市内87地区平均	38.7%
・市内87地区内順位	40位

秋の火災が多くなっています

火災発生季節は、秋が5割（48.4%）と多くなっています。

【火災発生季節：秋】

・札幌市全体	22.3%
・市内87地区平均	22.2%
・市内87地区内順位	2位

ごみ収集車からの火災が約13%

スプレー缶の誤った処分方法等に起因するごみ収集車からの火災が約13%となっています。

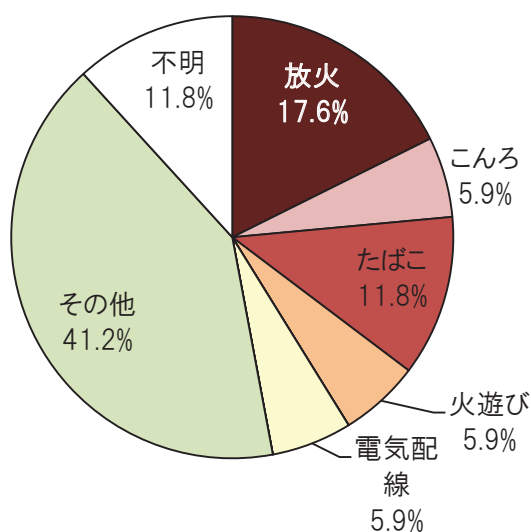
【り災物の状況：ごみ収集車割合】

・札幌市全体	10.4%
・市内87地区平均	11.7%
・市内87地区内順位	30位

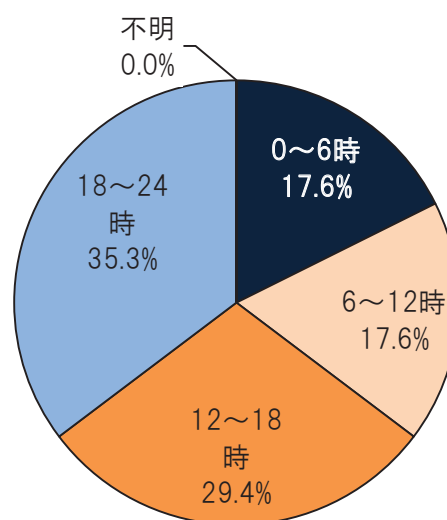
火災データ（平成21～25年）

◆ 平成21～25年合計火災件数 17件

◆ 火災原因



◆ 火災発生時間帯



火災予防対策は裏面をご覧ください

火災予防対策

放火を防ぐためのポイント

- ◆ごみは決められた日の朝に出しましょう！
- ◆戸建て住宅のまわりには物を置かないようにしましょう！
- ◆物置や車庫、車両などは必ず鍵をかけましょう！
- ◆人目の付きにくい場所での放火に注意しましょう！
- ◆センサー付き照明器具などの外灯をつけ、家の周囲を明るくすると効果的です。



たばこ火災を防ぐポイント

- ◆吸殻は水などをかけ、確実に火を消して捨てましょう！
- ◆寝たばこや消し忘れに注意しましょう！
- ◆灰皿には、吸殻を溜めないようにしましょう！



ごみ収集車からの火災を防ぐポイント

- ◆スプレー缶やカセットボンベなどは中身を使い切ってから、決められた日に捨てましょう！

スプレー缶等の残ガスが、ごみ収集車の中で引火して火災が発生しています。

スプレー缶等は、中身を使い切り屋外の火気のない場所で穴をあけ、「燃やせないごみ」の日に、指定ごみ袋とは別の透明または半透明の袋に入れて廃棄します。



「あなたの街の火災」は火災被害の低減と市民の火災予防意識の高揚を図る目的で、札幌市消防局が平成21～25年の火災データをもとに、87地区のまちづくりセンター別に各地区の火災傾向とその予防策を記したものです。



◆札幌市や他地区の火災データは札幌市公式ホームページから
札幌市ホームページ > 防災・防犯・消防 > 消防・火災予防 > 火災予防
<http://www.city.sapporo.jp/shobo/yobo/top.html>